

## 47 回生 合格体験記

兵庫県立大学国際商経学部

私が受験した兵庫県立大学の入試は、面接と英文の出題を含んだ小論文でした。夏休み頃に参考書や先輩が書いた小論文などを見て書き方を学びました。入試 2 か月前から実際に書き始め、それを先生に添削していただきました。小論文対策として、時事問題と英語の両方が学べる『ジャパントイムズ社説集』という本を使って勉強していました。

面接は苦手な人ほど後回しにせず、早めに練習を始めた方がいいと思います。私は面接に苦手意識があって、練習の時もよく失敗していました。予想外の質問にも答えられるようにもっと多くの先生と何度も練習しておけばよかったと思いました。

受験期は大変でつらいこともありますが、合格した時には大きな達成感を得ることができます。対策すればその分だけ自信を持って入試に挑めると思うので、合格できると信じて頑張ってください。

高知工科大学システム工学群

私が受験した高知工科大学の試験方法は学科試験と個別面接でした。学科試験対策として数学で受験することを考えていたので、夏休み中は数学を中心に勉強し、夏休み後から志望理由書を書き始めました。担任の先生には、ほぼ毎日のように添削していただきました。添削していくたびに自分の文章が良くなっていくのがわかりました。

面接も先生に何度も練習していただき、上手に答えられるように努力しました。そのおかげで試験本番ではあまり詰まることなく自分の思いを口に出すことができました。

私から後輩に向けて言えることは、自分が将来どんなことがしたいかをできるだけ早く考えておくのが重要だということです。目標を見つけたら、あとは突っ走るだけです。

立命館大学産業社会学部

私は3年次の5月頃まで志望校を決められなかった。ただ、どこを受験するにしても学力だけではなく、今まで自分のやってきたことを見てもらい、そこを評価してほしいと思っていた。だから1・2年次とボランティアに参加し、グループの中でリーダーをしたり、スピーチをさせてもらったりと、参加するだけでなくその中で何をするかを大切にしました。

小論文は特に学校別の対策等はせず、日ごろからニュースを見て自分なりの考えを持つように意識することが、思考力や対応力を高めることにつながったと思う。いつも社会の様々な問題について考える習慣をつけておくと、試験当日に初めて見た問題でも上手に対応することができるようになると思う。

京都産業大学国際関係学部

私がこの大学に合格した際の入試方法は小論文と面接でした。この形式で受験すると決めるまでに私はかなり葛藤しました。

小論文を書くためにはいろいろなジャンルの予備知識が必要なので、英語や国語などの勉強時間を削らなければならないからです。多くの人が受験する一般選抜入試では小論文や面接が必要ないので、私はほかの人よりやるが多くなってしまいとても大変でした。どの教科を勉強するか、いつ面接練習をするのかなど、計画を立てて効率よく勉強することが大切だと思いました。

受験勉強が大変だった分、合格した時は強い達成感を感じました。受験勉強は、できるだけ早い時期から始めること、小論文を利用して受験するときには早いうちから予備知識をつけておくべきだと思います。

龍谷大学経済学部

私が受験した大学の試験科目は書類審査と小論文、英語でした。志望理由書は担任の先生に相談しました。小論文の対策は、まず筆者の考えの部分に線を引くようにしました。そして、それをもとに大まかに書き出していくことで要約しやすくなるように工夫していました。新聞やニュースなどから社会の問題点と対処法を学ぶことも必要だと思います。

英語対策は学科試験と同じように長文問題の分からない単語に線を引き、単語帳などを使って覚えるようにしました。

小論文も学科試験の勉強も早めに始めるほうがいいです。新聞に少し目を通したり、朝の英語の小テストに力を入れたりするだけでも変わってくると思います。大学によって問題の傾向は違うので、多くの問題を見るようにして合格できるよう頑張ってください。

#### 龍谷大学農学部

私は一般入試の共通テスト併用方式で受験し、合格しました。夏休み前は基礎を固め、夏休み中は自分の苦手な教科や単元をもう一度勉強し直しました。夏休みが終わってからは共通テスト対策をしたり、龍谷大学の赤本を解いたりして問題に慣れるようにしました。共通テスト当日は、自分が解ける問題から優先的に解くように心がけ、時間配分にも注意しました。

周囲の人の進路が次々と決まっていく中で、自分はまだ決まっていないという焦りもありましたが、合格がわかったときは皆よりも遅かった分、達成感も人一倍でとても嬉しかったです。

私から後輩の皆さんにアドバイスしたいのは、苦手教科対策や単語の暗記についてです。これらの勉強には時間がかかるので、受験前になって焦らないように早めにとりかかったほうが良いと思います。また、受験日の前日と当日は体調を整え、気持ちを落ち着かせることを最優先にしましょう。これまで自分が勉強してきたことは裏切らないので頑張ってください。

#### 兵庫医療大学リハビリテーション学部

私が受験した大学の受験科目は英語、数学と小論文でした。英語と数学は夏休みまでに基礎力を身につけることを目標に参考書を解き続けました。夏休み以降は図書室や通学のすきま時間を活用して応用問題や過去問題を解き、間違えた問題は先生に質問しに行き基礎からやり直しました。調査書による加点もあったので、部活動や皆勤、定期考査など、できることはすべて全力で取り組みました。

第一希望の大学に合格したときは不安な気持ちがなくなり、努力が報われたという気持ちになりました。

コロナ禍の中での受験で思うようにいかないことが多々ありましたが時間は止まってくれないので、私は前を向いて今の自分にできることをやり続けました。後輩の皆さんには今からでも受験勉強を始めて、合格を掴むことができるよう頑張ってください。

#### 姫路医療センター附属看護学校

私の志望校の受験科目は、現代文、小論文と面接の3つでした。志望理由書や面接、小論文でのアドバイスはその日のうちにメモを取り、次に活かせるようにしました。特に面接練習には力を入れ、担任の先生だけでなく、部活動の顧問や進路指導部などたくさんの先生に練習をお願いしました。合格がわかったときには、すっと肩の荷が下りるのを感じました。私は学校推薦型選抜に懸けていたので、嬉しさより安心のほうが強かったのだと思います。

「今のうちに入試対策を」という言葉は耳にたこができるほど聞いていると思いますが、本当にその通りなので私も同じことを言います。皆さん、今のうちに対策しておきましょう。対策に早すぎることはありません。志望校を決める、行きたい学部を決める…小さなことでもいいので、今日からでも対策を始めていきましょう！

#### 神戸女子短期大学幼児教育学科

私は総合型選抜を受験しました。1次試験はピアノ実技と小論文でした。私はピアノが苦手だったので、受験内容が分かった時点から練習を開始し、難しいところは先生や友人に教えてもらいながら納得がいくまで練習しました。2次試験は個人面接でした。緊張していたけれど、自分の考えはしっかりと伝えることができました。面接が終わった直後は「いけた！」と思いましたが、合格発表を見るまではやはり不安もありました。郵送での合格発表だったのですが、母と一緒に開封して、合格が分かった瞬間は二人でハイタッチして喜びありました。受験は本当に疲れるし不安もあると思うのですが、自分に自信を持って頑張ってください。

#### 大阪体育大学体育学部

私は大阪体育大学を総合型選抜と学校推薦型選抜の二つの方式で受験しました。大阪体育大学への受験を考え始めたのは高校2年生の時にオープンキャンパスで行った時からです。学校推薦型選抜だけを考えていた私が総合型選抜も受験しようと思ったのは出願締切の1週間前でした。急いで志望理由書を書き上げたのですが、残念ながら不合格でした。それからすぐに気持ちを切り換えて本命の学校推薦型選抜への勉強に取り組み始めました。過去問や苦手な英単語を中心に勉強し、本学での受験に前乗りするほど気合いをいれて試験に臨みました。しかし、手応えはゼロに等しく、「一般頑張るか…」とっていたのですが、奇跡的に合格することができました。

私と同じ失敗をしないように、これから受験や就職がある皆さんにはしっかり計画を立てて勉強に取り組んでほしいと思います。

## 大阪音楽大学音楽部音楽科ギター・マンドリン専攻

私が受験した大学は、大阪音楽大学のギター・マンドリン専攻です。試験は1日目に小論文と面接、2日目に実技がありました。試験の配点が最も高かったのが実技だったので、私は実技対策に力をいれました。ギター・マンドリンの演奏は他の人と合奏することが多いのですが、入試では独奏なのでカバーしてくれる人が誰もおらず、失敗は許されません。普通なら緊張してしまうところですが、私の入試は午後からだったので、朝早くに大学に行きひたすら練習して余計なことを考えないようにしていました。だから本番ではあまり緊張することなく弾けました。合格した時は、大好きな音楽をこれからも続けられるという喜びで胸がいっぱいになりました。音大はそれほど勉強しなくても実技さえできれば入れると思っている人もいるかもしれません。しかし、ソルフェージュなどは高校に入学してすぐにもすべきだと思いました。音大志望の人は少ないと思いますが、諦めず頑張ってください。